

## 循環型社会の形成（ごみ減量化と資源化）

### 1 これまでの経過

- 平成 8年 5分別の開始（清掃工場とリサイクルプラザの設置）
- 平成13年 ペットボトルの分別開始，粗大ごみの有料化
- 平成15年 廃棄物処分場（芳野）の設置
- 平成18年 プラスチック製容器包装及び紙製容器包装の分別開始
- 平成19年 家庭ごみ（燃やせるごみ，燃やせないごみ）の有料指定ごみ袋制度の導入

（13分別）

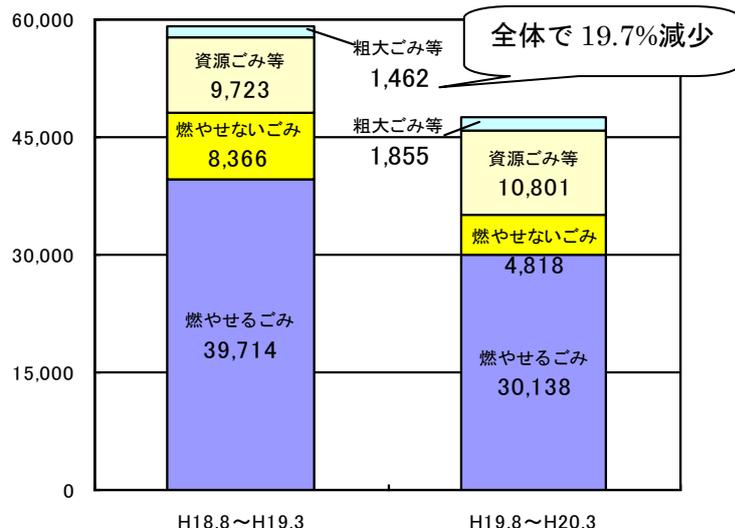
有 料	無 料	
燃やせるごみ	プラスチック製容器包装	せん定枝
燃やせないごみ	ペットボトル	廃食用油
粗大ごみ	紙製容器包装	布類
	段ボール	
	空き缶・空きびん，家庭金物	
	紙パック	
	乾電池，蛍光管	



### 2 家庭ごみの排出量について

平成18年度と19年度の8月～3月の比較  
（有料化後の比較）

【単位:t】



○有料化後（8月～3月）の比較

- ・燃やせるごみ 24.1%減少
- ・燃やせないごみ 42.4%減少
- ・資源ごみ等 11.1%増加
- ・全体 19.7%減少

○通年（4月～3月）での比較

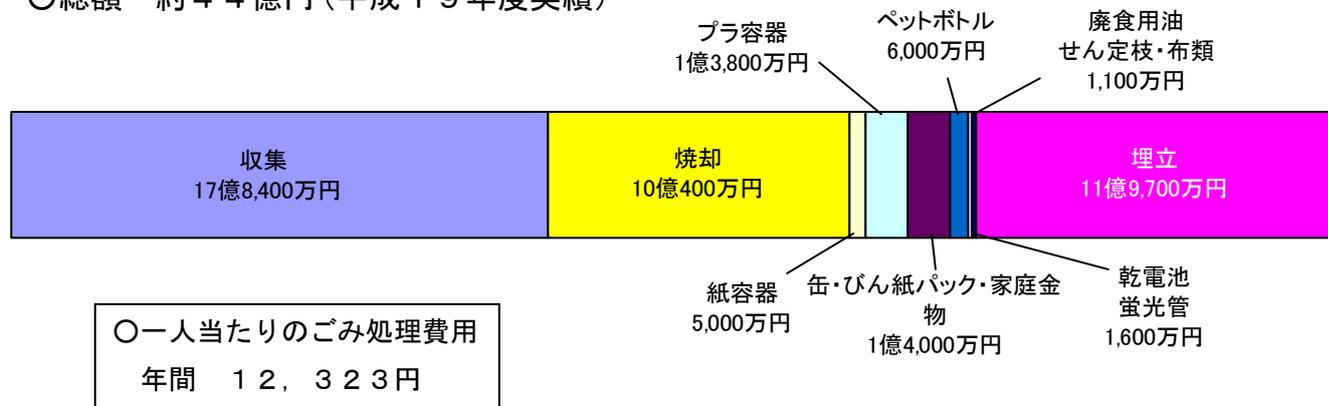
- ・燃やせるごみ 10.2%減少
- ・燃やせないごみ 3.7%減少
- ・資源ごみ等 22.6%増加
- ・全体 3.6%減少

○一人が1日に出すごみの量

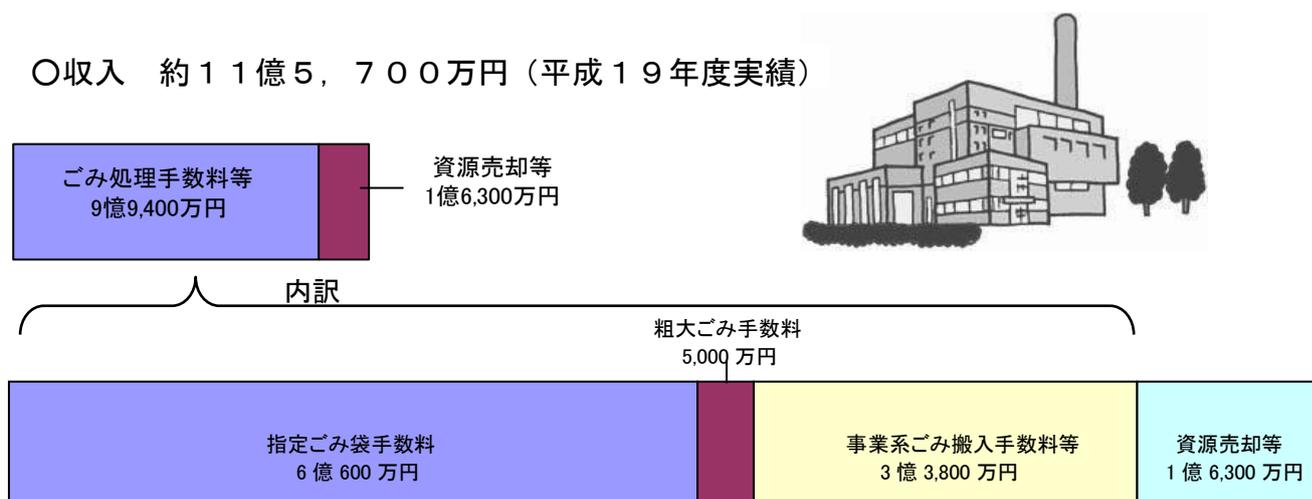
688グラム

### 3 ごみ処理に係る費用について

○総額 約44億円(平成19年度実績)



○収入 約11億5,700万円(平成19年度実績)



### 4 違反ごみの状況

○有料化直後

平成19年8月 1.7%



○最近

平成20年7月 0.7%

### 5 ごみの減量及び資源化に向けて

- 1 ごみを減らす ~ ごみを減らす一番大事な方法は、ごみを出さないこと
- 2 繰り返し使う ~ 捨てる前にもう一度考えよう
- 3 再生利用する ~ どうしても残ってしまったものは、資源としてリサイクル